

●指定管理者業務評価シート(5年目評価)

施設名	富田林市立総合福祉会館	施設所管課	地域福祉課
指定管理者名	社会福祉法人 富田林市社会福祉協議会		
指定期間(年度)	平成26年度 ~ 平成30年度	評価対象年度	平成 30 年度

①評価の実施方法

下記の評価項目ごとに、指定管理者より提出される実績報告を基に所管課が評価を行う。

②評価基準

a~dの4段階(aが最良)の評価を行い、仕様書や提案(業務計画)の内容を満たす問題のない内容を「b」(基準点)とする。

③評価項目

		自己	担当課
基本方針	1 管理運営の基本方針の周知が適切になされている。	b	b
	2 管理運営において環境への配慮がなされている。	b	b
	3 施設利用における公平性が確保されている。	b	a
	4 地域住民・各種関係団体等との意見交換や連絡調整が適切に行われている。	a	a
コンプライアンスの取組み	5 業務実施における法令遵守のための体制が整備されている。	a	a
	6 個人情報保護に関する体制が整備されている。	b	b
利用者数・利用率向上策	7 利用者数向上策について、提案通りに実行されている。	b	d
	8 利用促進に係る広報・PR活動を積極的に行っている。	b	b
利用者サービス向上策	9 利用者サービス向上策について、提案通りに実行されている。	b	b
	10 利用者意見・要望が事業等に適切に反映されている。	b	b
	11 苦情処理やトラブルへの対応について、市との連携、市への報告が適切に行われている。	a	a
自主事業	12 自主事業の実施により、施設が有効に活用されている。		
収支計画	13 収支予算書と比較して、収支状況が妥当である。《収入》	d	d
	14 収支予算書と比較して、収支状況が妥当である。《支出》	a	a
人員配置計画	15 提案に基づき、効率性と安全性を両立した人員配置・勤務体制となっている。	b	b
人材育成についての考え方及び研修計画	16 研修計画に基づき、人権啓発のための研修が実施されている。	b	b
	17 研修計画に基づき、人材育成のための研修が実施されている。	b	b
危機管理策	18 緊急時の体制や対応策について必要な対策を講じている。	b	b
日常の安全管理	19 事業計画書等に従い、防犯・防災・衛生管理業務を適切に行っている。	b	b
	20 事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	b	b
	21 仕様書等に従い、清掃業務が行われている。	b	b

		自己	担当課
その他	22 備品台帳に記載された備品を適切に管理している。	b	b
	23 外部への業務委託が適正に行われている。	a	a

④改善要求点(4年目評価における運営改善を要求した項目に対する評価)

	改善要求点	対応及び評価
ア	利用者向上策の年度計画の内容は充足しているが、利用者数が減少しているため、利用者ニーズを意識した向上策を検討して下さい。	利用者のニーズに沿った施設運営を行うために、利用者の少ない図書室を講座室に用途変更をおこなった。また、身体面の事情により和室を利用できない人がいるため、敷物や備品を整備することで椅子を利用できるようにした。結果として、和室の利用者は増加した。講座室への用途変更は30年度末に実施したため、効果の検証はできていない。
イ	無料の日の導入による利用者増加策を行ったが、浴場の利用者数が減少し続けているので、類似施設の取組み事例の情報収集や、利用者からのアイデア募集など、新規利用の獲得に向け、それらに基づく具体的対策を検討して下さい。	季節の湯の実施や、脱衣室の床タイルやロッカーを更新し、清潔感のあるものにしたが、大きな成果はなく、例年通り利用者が減少した。
ウ		

⑤評価者(所管課)コメント

昨年度より、引き続き敬老の日の浴場無料開放や、利用者アンケートの結果をもとに脱衣所の改修を行ったが課題となっている浴場利用者数は昨年度より減少した。利用者の大半が既存の利用者となっているため、新規利用者獲得が課題である。

[参考]	【千円】					
	平成 28 年度		平成 29 年度		平成 30 年度	
	予算	決算	予算	決算	予算	決算
指定管理料	50,310	50,310	50,255	50,255	50,399	50,399
利用料金	1,900	1,246	1,950	1,205	1,950	1,050

[参考]	【人】					
	目標	実績	目標	実績	目標	実績
利用者数	109,980	105,710	111,408	105,075	112,503	102,711

[参考]	【%】					
	目標	実績	目標	実績	目標	実績
利用率	55.4	51.7	56.6	54.8	64.7	58.6

●指定管理者業務評価シート(5年目評価)

施設名	富田林市立コミュニティセンター	施設所管課	地域福祉課
指定管理者名	社会福祉法人 富田林市社会福祉協議会		
指定期間(年度)	平成26年度 ~ 平成30年度	評価対象年度	平成 30 年度

①評価の実施方法

下記の評価項目ごとに、指定管理者より提出される実績報告を基に所管課が評価を行う。

②評価基準

a~dの4段階(aが最良)の評価を行い、仕様書や提案(業務計画)の内容を満たす問題のない内容を「b」(基準点)とする。

③評価項目

		自己	担当課
基本方針	1 管理運営の基本方針の周知が適切になされている。	b	b
	2 管理運営において環境への配慮がなされている。	b	b
	3 施設利用における公平性が確保されている。	a	a
	4 地域住民・各種関係団体等との意見交換や連絡調整が適切に行われている。	a	a
コンプライアンスの取組み	5 業務実施における法令遵守のための体制が整備されている。	a	a
	6 個人情報保護に関する体制が整備されている。	b	b
利用者数・利用率向上策	7 利用者数向上策について、提案通りに実行されている。	a	a
	8 利用促進に係る広報・PR活動を積極的に行っている。	a	a
利用者サービス向上策	9 利用者サービス向上策について、提案通りに実行されている。	a	a
	10 利用者意見・要望が事業等に適切に反映されている。	b	b
自主事業	11 苦情処理やトラブルへの対応について、市との連携、市への報告が適切に行われている。	a	a
	12 自主事業の実施により、施設が有効に活用されている。	b	b
収支計画	13 収支予算書と比較して、収支状況が妥当である。《収入》	c	c
	14 収支予算書と比較して、収支状況が妥当である。《支出》	a	a
人員配置計画	15 提案に基づき、効率性と安全性を両立した人員配置・勤務体制となっている。	b	b
人材育成についての考え方及び研修計画	16 研修計画に基づき、人権啓発のための研修が実施されている。	b	b
	17 研修計画に基づき、人材育成のための研修が実施されている。	b	b
危機管理策	18 緊急時の体制や対応策について必要な対策を講じている。	a	b
日常の安全管理	19 事業計画書等に従い、防犯・防災・衛生管理業務を適切に行っている。	b	b
	20 事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	b	b
	21 仕様書等に従い、清掃業務が行われている。	b	b

		自己	担当課
その他	22 備品台帳に記載された備品を適切に管理している。	b	b
	23 外部への業務委託が適正に行われている。	a	a

④改善要求点(4年目評価における運営改善を要求した項目に対する評価)

	改善要求点	対応及び評価
ア	利用者向上策の年度計画の内容は充足しているが、利用者数が減少しているため、利用者ニーズを意識した向上策を検討して下さい。	子育て世代や運動系で施設を利用されている人に対してアンケートを実施し、新規事業を実施及び事業や施設の周知方法の改善により利用者数・利用率ともに昨年度を上回った。
イ	利用率の低い貸館の改善のため、新規事業や使用方法の変更等、利用率向上策を検討して下さい。	デイサービスセンタースペースや利用の少ない講座室を活用し、高齢者ニーズアンケートの結果をもとに、ロコモ体操を実施し利用率増加の一因となった。
ウ	安定的、継続的な施設の管理運営に資するよう、利用料金収入増加策について検討して下さい。	令和元年度実施予定のため、まだ実施していないが、親子で参加できるイベント「キッズ夏あそび」で施設の各部屋・設備をスタンプラリー形式で回ってもらい周知する計画をしている。

⑤評価者(所管課)コメント

利用者のアンケートをもとに、子供から大人、ボランティア団体を巻き込みながら新規事業を実施している。また、新規事業や施設の紹介をSNSの利用や発信方法の工夫をすることにより新規利用者獲得に努めた結果、利用者数、利用率ともに昨年度を上回っていることは大きく評価できる。

[参考]	【千円】					
	平成 28 年度		平成 29 年度		平成 30 年度	
	予算	決算	予算	決算	予算	決算
指定管理料	41,266	41,266	41,177	41,177	41,252	41,252
利用料金	5,174	4,660	5,202	4,501	5,254	4,765

[参考]	【人】					
	目標	実績	目標	実績	目標	実績
利用者数	66,132	64,218	61,572	58,343	56,004	58,949

[参考]	【%】					
	目標	実績	目標	実績	目標	実績
利用率	43	41.8	43	40.8	43	44.8

●指定管理者業務評価シート(5年目評価)

施設名	富田林市ケアセンター	施設所管課	地域福祉課
指定管理者名	一般財団法人 富田林市福祉公社		
指定期間(年度)	平成26年度 ~ 平成30年度	評価対象年度	平成 30 年度

①評価の実施方法

下記の評価項目ごとに、指定管理者より提出される実績報告を基に所管課が評価を行う。

②評価基準

a~dの4段階(aが最良)の評価を行い、仕様書や提案(業務計画)の内容を満たす問題のない内容を「b」(基準点)とする。

③評価項目

		自己	担当課
基本方針	1 管理運営の基本方針の周知が適切になされている。	b	b
	2 管理運営において環境への配慮がなされている。	b	b
	3 施設利用における公平性が確保されている。	a	a
	4 地域住民・各種関係団体等との意見交換や連絡調整が適切に行われている。	a	a
コンプライアンスの取組み	5 業務実施における法令遵守のための体制が整備されている。	b	b
	6 個人情報保護に関する体制が整備されている。	b	b
利用者数・利用率向上策	7 利用者数向上策について、提案通りに実行されている。	c	b
	8 利用促進に係る広報・PR活動を積極的に行っている。	b	c
利用者サービス向上策	9 利用者サービス向上策について、提案通りに実行されている。	c	b
	10 利用者意見・要望が事業等に適切に反映されている。	b	b
	11 苦情処理やトラブルへの対応について、市との連携、市への報告が適切に行われている。	a	a
自主事業	12 自主事業の実施により、施設が有効に活用されている。	c	c
収支計画	13 収支予算書と比較して、収支状況が妥当である。《収入》	c	c
	14 収支予算書と比較して、収支状況が妥当である。《支出》	a	a
人員配置計画	15 提案に基づき、効率性と安全性を両立した人員配置・勤務体制となっている。	b	b
人材育成についての考え方及び研修計画	16 研修計画に基づき、人権啓発のための研修が実施されている。	b	b
	17 研修計画に基づき、人材育成のための研修が実施されている。	b	b
危機管理策	18 緊急時の体制や対応策について必要な対策を講じている。	b	b
日常の安全管理	19 事業計画書等に従い、防犯・防災・衛生管理業務を適切に行っている。	b	b
	20 事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	b	a
	21 仕様書等に従い、清掃業務が行われている。	b	b

		自己	担当課
その他	22 備品台帳に記載された備品を適切に管理している。	b	b
	23 外部への業務委託が適正に行われている。	a	a

④改善要求点(4年目評価における運営改善を要求した項目に対する評価)

	改善要求点	対応及び評価
ア	3年続けて目標に達していない状況であるため、主な収入源となっている老健施設の利用料金収入増加策を検討して下さい。	入所事業において、褥瘡マネジメント加算、入退所前後訪問指導加算、看取りの実施及び通所事業において、短時間利用の試験的实施を行うことにより、利用者増、利用料収入増を行った。結果として、平成30年度利用料収入は、第三期指定管理期間で最も高くなった。
イ		
ウ		

⑤評価者(所管課)コメント

健康づくり・世代間交流施設については、昨年引き続き教室事業を主催することによる新たな利用者の獲得や、新しい教室・講座の開催により利用者数が増加した。老健施設については、新たな収益確保のために看取り事業開始し、入所・通所の利用者が増加したことにより昨年度より利用料金収入が増加している。市へ返還金が発生するほど利用料金収入が増加したことについては評価できる。

[参考]	【千円】					
	平成 28 年度		平成 29 年度		平成 30 年度	
	予算	決算	予算	決算	予算	決算
指定管理料	136,520	136,520	134,812	134,812	133,099	133,099
利用料金	481,520	458,454	486,976	450,280	468,613	465,904

[参考]	【人】					
	目標	実績	目標	実績	目標	実績
利用者数	147,222	173,482	150,290	175,604	170,531	179,043

[参考]	【%】					
	目標	実績	目標	実績	目標	実績
利用率	35	32.07	35	34.06	45	35.19

●指定管理者業務評価シート(5年目評価)

施設名	富田林市立喜志駅地下自転車駐車場	施設所管課	道路交通課
指定管理者名	センターパーキング富田林		
指定期間(年度)	平成26年度 ~ 平成30年度	評価対象年度	平成 30 年度

①評価の実施方法

下記の評価項目ごとに、指定管理者より提出される実績報告を基に担当課が評価を行う。

②評価基準

a~dの4段階(aが最良)の評価を行い、仕様書や提案(業務計画)の内容を満たす問題のない内容を「b」(基準点)とする。

③評価項目

		自己	担当課
基本方針	1 管理運営の基本方針の周知が適切になされている。	a	a
	2 管理運営において環境への配慮がなされている。	b	b
	3 施設利用における公平性が確保されている。	a	a
	4 地域住民・各種関係団体等との意見交換や連絡調整が適切に行われている。	b	b
コンプライアンスの取組み	5 業務実施における法令遵守のための体制が整備されている。	b	b
	6 個人情報保護に関する体制が整備されている。	a	a
利用者数・利用率向上策	7 利用者数向上策について、提案通りに実行されている。	b	b
	8 利用促進に係る広報・PR活動を積極的に行っている。	a	a
利用者サービス向上策	9 利用者サービス向上策について、提案通りに実行されている。	a	a
	10 利用者意見・要望が事業等に適切に反映されている。	b	b
	11 苦情処理やトラブルへの対応について、市との連携、市への報告が適切に行われている。	a	a
自主事業	12 自主事業の実施により、施設が有効に活用されている。	b	a
収支計画	13 収支予算書と比較して、収支状況が妥当である。《収入》	a	a
	14 収支予算書と比較して、収支状況が妥当である。《支出》	a	a
人員配置計画	15 提案に基づき、効率性と安全性を両立した人員配置・勤務体制となっている。	a	a
人材育成についての考え方及び研修計画	16 研修計画に基づき、人権啓発のための研修が実施されている。	a	a
	17 研修計画に基づき、人材育成のための研修が実施されている。	b	b
危機管理策	18 緊急時の体制や対応策について必要な対策を講じている。	a	a
日常の安全管理	19 事業計画書等に従い、防犯・防災・衛生管理業務を適切に行っている。	a	a
	20 事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	b	b
	21 仕様書等に従い、清掃業務が行われている。	a	a

		自己	担当課
その他	22 備品台帳に記載された備品を適切に管理している。	b	b
	23 外部への業務委託が適正に行われている。	a	b

④改善要求点(4年目評価における運営改善を要求した項目に対する評価)

	改善要求点	対応及び評価
ア		
イ		
ウ		

⑤評価者コメント

基本方針及び計画に基づいた運営を行っていただいた。利用率は、近隣に民間の自転車駐車場が開業された関係で、H29年度と比較して若干下がった。今年度の支出面に関しては、電灯設備に関して昨年度LED化に順次取組み環境保護と経費の節減を図り光熱費は前年比若干減となったが、人件費及び修繕費に関しては増加傾向となった。今年度の収支では、総合的に支出減に努めたことで全体としては黒字となり、約247万円もの利益還付金を納付していただいた。

[参考]

	平成 28 年度		平成 29 年度		平成 30 年度	
	予算	決算	予算	決算	予算	決算
指定管理料	0	0	0	0	0	0
利用料金	18748	19486	18832	20663	18915	17885

	目標	実績	目標	実績	目標	実績
	利用者数	10918	13226	10954	14924	11379

	目標	実績	目標	実績	目標	実績
	利用率		78.4		82.7	

●指定管理者業務評価シート(5年目評価)

施設名	富田林市農業公園	施設所管課	農業振興課
指定管理者名	農事組合法人 富田林市南地区協同組合		
指定期間(年度)	平成26年度 ~ 平成30年度	評価対象年度	平成 30 年度

①評価の実施方法

下記の評価項目ごとに、指定管理者より提出される実績報告を基に所管課が評価を行う。

②評価基準

a~dの4段階(aが最良)の評価を行い、仕様書や提案(業務計画)の内容を満たす問題のない内容を「b」(基準点)とする。

③評価項目

	自己	担当課	
基本方針	1 管理運営の基本方針の周知が適切になされている。	a	a
	2 管理運営において環境への配慮がなされている。	a	a
	3 施設利用における公平性が確保されている。	a	a
	4 地域住民・各種関係団体等との意見交換や連絡調整が適切に行われている。	a	a
コンプライアンスの取組み	5 業務実施における法令遵守のための体制が整備されている。	a	a
	6 個人情報保護に関する体制が整備されている。	b	b
利用者数・利用率向上策	7 利用者数向上策について、提案通りに実行されている。	c	c
	8 利用促進に係る広報・PR活動を積極的に行っている。	b	b
利用者サービス向上策	9 利用者サービス向上策について、提案通りに実行されている。	c	c
	10 利用者意見・要望が事業等に適切に反映されている。	a	a
自主事業	11 苦情処理やトラブルへの対応について、市との連携、市への報告が適切に行われている。	a	a
	12 自主事業の実施により、施設が有効に活用されている。	c	c
収支計画	13 収支予算書と比較して、収支状況が妥当である。《収入》	d	d
	14 収支予算書と比較して、収支状況が妥当である。《支出》	a	a
人員配置計画	15 提案に基づき、効率性と安全性を両立した人員配置・勤務体制となっている。	b	b
人材育成についての考え方及び研修計画	16 研修計画に基づき、人権啓発のための研修が実施されている。	b	b
	17 研修計画に基づき、人材育成のための研修が実施されている。	b	b
危機管理策	18 緊急時の体制や対応策について必要な対策を講じている。	b	b
日常の安全管理	19 事業計画書等に従い、防犯・防災・衛生管理業務を適切に行っている。	b	b
	20 事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	b	b
	21 仕様書等に従い、清掃業務が行われている。	b	b

	自己	担当課	
その他	22 備品台帳に記載された備品を適切に管理している。	b	b
	23 外部への業務委託が適正に行われている。	a	a

④改善要求点(4年目評価における運営改善を要求した項目に対する評価)

	改善要求点	対応及び評価
ア	有料入園者数は回復したものの計画を下回っており、来園者へのサービス向上及び自主事業の拡充により、有料入場者数のさらなる増加を図って下さい。	○来園者へのサービス向上策(サバーフェスタの充実・コインロッカー設置・アイスクリーム自販機設置・遊具増設・トランポリン設置・丘上展望台改修・園内に発表舞台の整備) ○自主事業拡充策(イチゴ高設栽培増設・持ち込みバーベキューコーナー増設・レストランメニュー改善) 上記取り組みを実施及び計画しており、農業公園の魅力向上で有料入場者数の増加につながるものと評価
イ		
ウ		

⑤評価者(所管課)コメント

平成30年度業務は、9月4日に大阪を通過した台風21号により甚大な被害を受け、最大の繁忙期である9月の入園者数が過去最低を記録する等苦戦し、年間の入園者数も6万人台にとどまりました。サバーセンターハウスの整備などの指定管理者による魅力向上の取り組みと合わせ、第4期の指定管理者選定を進める過程で、公園そのものの魅力を高めるイベントの開催などを達成目標と定めることで、指定管理者の取り組みを促し、平成31年1月から先行して「サバーフェスタ」として取り組まれています。天候等の影響を受けることは避けられませんが、その悪影響を緩和するために、農業公園の魅力向上に取り組めます。

[参考]	平成 28 年度		平成 29 年度		平成 30 年度	
	予算	決算	予算	決算	予算	決算
指定管理料	99364	99364	99396	99396	99396	99396
利用料金	40700	30907	40800	38143	40900	32666

[人]	目標	実績	目標	実績	目標	実績
	利用者数	87000	63188	83000	76953	80000

[%]	目標	実績	目標	実績	目標	実績
	利用率	6.6	7.1	6.6	6.7	6.6

●指定管理者業務評価シート(5年目評価)

施設名	富田林市市民会館	施設所管課	生涯学習課
指定管理者名	アクティオ株式会社		
指定期間(年度)	平成26年度 ~ 平成30年度	評価対象年度	平成 30 年度

①評価の実施方法

下記の評価項目ごとに、指定管理者より提出される実績報告を基に所管課が評価を行う。

②評価基準

a~dの4段階(aが最良)の評価を行い、仕様書や提案(業務計画)の内容を満たす問題のない内容を「b」(基準点)とする。

③評価項目

		自己	担当課
基本方針	1 管理運営の基本方針の周知が適切になされている。	a	a
	2 管理運営において環境への配慮がなされている。	a	a
	3 施設利用における公平性が確保されている。	a	a
	4 地域住民・各種関係団体等との意見交換や連絡調整が適切に行われている。	a	a
コンプライアンスの取組み	5 業務実施における法令遵守のための体制が整備されている。	a	a
	6 個人情報保護に関する体制が整備されている。	a	a
利用者数・利用率向上策	7 利用者数向上策について、提案通りに実行されている。	b	b
	8 利用促進に係る広報・PR活動を積極的に行っている。	a	a
利用者サービス向上策	9 利用者サービス向上策について、提案通りに実行されている。	a	a
	10 利用者意見・要望が事業等に適切に反映されている。	b	b
	11 苦情処理やトラブルへの対応について、市との連携、市への報告が適切に行われている。	a	a
自主事業	12 自主事業の実施により、施設が有効に活用されている。	c	c
収支計画	13 収支予算書と比較して、収支状況が妥当である。《収入》	d	d
	14 収支予算書と比較して、収支状況が妥当である。《支出》	a	a
人員配置計画	15 提案に基づき、効率性と安全性を両立した人員配置・勤務体制となっている。	b	b
人材育成についての考え方及び研修計画	16 研修計画に基づき、人権啓発のための研修が実施されている。	b	b
	17 研修計画に基づき、人材育成のための研修が実施されている。	b	b
危機管理策	18 緊急時の体制や対応策について必要な対策を講じている。	b	b
日常の安全管理	19 事業計画書等に従い、防犯・防災・衛生管理業務を適切に行っている。	a	a
	20 事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	a	a
	21 仕様書等に従い、清掃業務が行われている。	b	b

		自己	担当課
その他	22 備品台帳に記載された備品を適切に管理している。	a	a
	23 外部への業務委託が適正に行われている。	a	a

④改善要求点(4年目評価における運営改善を要求した項目に対する評価)

	改善要求点	対応及び評価
ア	自主事業、各種講座の定員充足率を向上させるため、新規団体の誘致やPR活動の工夫など施設の定期利用へつなげるための方策について検討されたい。	新規団体の誘致のための方策やPR活動の拡充など積極的に動いており、また施設全体の利用者数も増えており一定の評価はできる。しかしながら、それが定期利用につながっているか効果が不明であるとともに自主事業については、ほぼすべての事業で参加者数が定員を下回っているため、目標設定の見直しも含めた検討が必要と考える。
イ		
ウ		

⑤評価者(所管課)コメント

利用者の立場に立った施設の運営を行うとともに、既存利用者へのサービス向上、新規利用者獲得・増加のための積極的な展開による利用者数の増加は大変評価できる。一方、利用者数の増加が利用料金収入の増加につながっていないため、現状の方策である割引による利用者数増加策の見直し検討も含め、利用料金収入につながる新しい方策を検討して頂きたい。

[参考]	【千円】					
	平成 28 年度		平成 29 年度		平成 30 年度	
	予算	決算	予算	決算	予算	決算
指定管理料	55,323	55,323	55,391	55,391	54,957	54,957
利用料金	20,500	16,790	20,800	16,851	21,000	16,504

[参考]	【人】					
	目標	実績	目標	実績	目標	実績
利用者数	117,000	111,674	117,575	112,661	118,965	117,428

[参考]	【%】					
	目標	実績	目標	実績	目標	実績
利用率	83.6	69.2	83.3	72.1	83.3	72.5

●指定管理者業務評価シート(5年目評価)

施設名	すばるホール	施設所管課	生涯学習課
指定管理者名	公益財団法人富田林市文化振興事業団		
指定期間(年度)	平成26年度 ~ 平成30年度	評価対象年度	平成 30 年度

①評価の実施方法

下記の評価項目ごとに、指定管理者より提出される実績報告を基に所管課が評価を行う。

②評価基準

a~dの4段階(aが最良)の評価を行い、仕様書や提案(業務計画)の内容を満たす問題のない内容を「b」(基準点)とする。

③評価項目

		自己	担当課
基本方針	1 管理運営の基本方針の周知が適切になされている。	a	a
	2 管理運営において環境への配慮がなされている。	a	a
	3 施設利用における公平性が確保されている。	a	a
	4 地域住民・各種関係団体等との意見交換や連絡調整が適切に行われている。	b	b
コンプライアンスの取組み	5 業務実施における法令遵守のための体制が整備されている。	a	a
	6 個人情報保護に関する体制が整備されている。	a	a
利用者数・利用率向上策	7 利用者数向上策について、提案通りに実行されている。	c	c
	8 利用促進に係る広報・PR活動を積極的に行っている。	b	b
利用者サービス向上策	9 利用者サービス向上策について、提案通りに実行されている。	a	a
	10 利用者意見・要望が事業等に適切に反映されている。	b	b
	11 苦情処理やトラブルへの対応について、市との連携、市への報告が適切に行われている。	a	a
自主事業	12 自主事業の実施により、施設が有効に活用されている。	b	b
収支計画	13 収支予算書と比較して、収支状況が妥当である。《収入》	c	c
	14 収支予算書と比較して、収支状況が妥当である。《支出》	a	a
人員配置計画	15 提案に基づき、効率性と安全性を両立した人員配置・勤務体制となっている。	b	b
人材育成についての考え方及び研修計画	16 研修計画に基づき、人権啓発のための研修が実施されている。	a	a
	17 研修計画に基づき、人材育成のための研修が実施されている。	a	a
危機管理策	18 緊急時の体制や対応策について必要な対策を講じている。	a	a
日常の安全管理	19 事業計画書等に従い、防犯・防災・衛生管理業務を適切に行っている。	a	a
	20 事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	a	a
	21 仕様書等に従い、清掃業務が行われている。	a	a

		自己	担当課
その他	22 備品台帳に記載された備品を適切に管理している。	a	a
	23 外部への業務委託が適正に行われている。	a	a

④改善要求点(4年目評価における運営改善を要求した項目に対する評価)

	改善要求点	対応及び評価
ア	安定的、継続的な施設の管理運営に資するよう、利用料金収入並びに事業収入を増加させる方策について検討されたい。	(対応策)館内の施設紹介、施設案内パンフレットの更新、宣伝広告媒体の多様化や互助会等向けセールスの強化を図り、利用料金・事業収入の増加を図る。(評価)利用料金・事業収入の増加については、先進事例等を参考にしながら、積極的・継続的な取り組みが必要と考える。
イ		
ウ		

⑤評価者(所管課)コメント

すばるホールが文化を創造する拠点として広く市民に利用されるよう、多方面の利用者の声を聴き、市民文化の振興を図るとともに安定的、継続的な施設の管理運営に資するよう、利用料金収入や事業収入を増加されたい。また、コンプライアンスの強化については、今後とも重点的に取り組まされたい。

[参考]	【千円】					
	平成 28 年度		平成 29 年度		平成 30 年度	
	予算	決算	予算	決算	予算	決算
指定管理料	243,360	226,981	227,734	227,216	228,476	228,476
利用料金	57,800	55,610	58,100	57,171	58,400	56,005
	【人】					
	目標	実績	目標	実績	目標	実績
利用者数	250,220	221,721	230,680	222,946	231,865	211,685
	【%】					
	目標	実績	目標	実績	目標	実績
利用率	61.7	63.4	60.0	66.9	60.0	66.0

●指定管理者業務評価シート(5年目評価)

施設名	富田林市立総合スポーツ公園	施設所管課	生涯学習課
指定管理者名	株式会社オーエンス		
指定期間(年度)	平成26年度 ~ 平成30年度	評価対象年度	平成 30 年度

①評価の実施方法

下記の評価項目ごとに、指定管理者より提出される実績報告を基に所管課が評価を行う。

②評価基準

a~dの4段階(aが最良)の評価を行い、仕様書や提案(業務計画)の内容を満たす問題のない内容を「b」(基準点)とする。

③評価項目

		自己	担当課
基本方針	1 管理運営の基本方針の周知が適切になされている。	a	a
	2 管理運営において環境への配慮がなされている。	b	b
	3 施設利用における公平性が確保されている。	a	a
	4 地域住民・各種関係団体等との意見交換や連絡調整が適切に行われている。	b	b
コンプライアンスの取組み	5 業務実施における法令遵守のための体制が整備されている。	a	a
	6 個人情報保護に関する体制が整備されている。	a	a
利用者数・利用率向上策	7 利用者数向上策について、提案通りに実行されている。	a	a
	8 利用促進に係る広報・PR活動を積極的に行っている。	c	c
利用者サービス向上策	9 利用者サービス向上策について、提案通りに実行されている。	c	b
	10 利用者意見・要望が事業等に適切に反映されている。	b	b
	11 苦情処理やトラブルへの対応について、市との連携、市への報告が適切に行われている。	a	a
自主事業	12 自主事業の実施により、施設が有効に活用されている。	b	b
収支計画	13 収支予算書と比較して、収支状況が妥当である。《収入》	b	b
	14 収支予算書と比較して、収支状況が妥当である。《支出》	c	c
人員配置計画	15 提案に基づき、効率性と安全性を両立した人員配置・勤務体制となっている。	b	b
人材育成についての考え方及び研修計画	16 研修計画に基づき、人権啓発のための研修が実施されている。	b	b
	17 研修計画に基づき、人材育成のための研修が実施されている。	b	b
危機管理策	18 緊急時の体制や対応策について必要な対策を講じている。	b	b
日常の安全管理	19 事業計画書等に従い、防犯・防災・衛生管理業務を適切に行っている。	b	b
	20 事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	b	b
	21 仕様書等に従い、清掃業務が行われている。	b	b

		自己	担当課
その他	22 備品台帳に記載された備品を適切に管理している。	b	b
	23 外部への業務委託が適正に行われている。	a	a

④改善要求点(4年目評価における運営改善を要求した項目に対する評価)

	改善要求点	対応及び評価
ア		
イ		
ウ		

⑤評価者(所管課)コメント

今年度においては、利用料金収入が提案額を超えている。毎年度、利用者本位の運営に努めており、施設利用者数、稼働率については、台風被害による災害復旧予定等も関係し、利用者数について一部減少もある。アンケートからも利用者満足度が良いと推測される。

[参考]	【千円】					
	平成 28 年度		平成 29 年度		平成 30 年度	
	予算	決算	予算	決算	予算	決算
指定管理料	41,050	41,050	41,050	41,050	41,050	41,050
利用料金	17,900	16,933	17,900	17,606	17,900	18,611

[参考]	【人】					
	目標	実績	目標	実績	目標	実績
利用者数	88,121	93,635	88,121	94,684	88,121	92,126

[参考]	【%】					
	目標	実績	目標	実績	目標	実績
利用率	38.0	33.4	38.0	34.9	38.0	37.4

●指定管理者業務評価シート(5年目評価)

施設名	じないまち交流館	施設所管課	文化財課
指定管理者名	富田林寺内町をまもり・そだてる会		
指定期間(年度)	平成26年度 ~ 令和元年度	評価対象年度	平成 30 年度

①評価の実施方法

下記の評価項目ごとに、指定管理者より提出される実績報告を基に所管課が評価を行う。

②評価基準

a~dの4段階(aが最良)の評価を行い、仕様書や提案(業務計画)の内容を満たす問題のない内容を「b」(基準点)とする。

③評価項目

		自己	担当課
基本方針	1 管理運営の基本方針の周知が適切になされている。	a	a
	2 管理運営において環境への配慮がなされている。	b	b
	3 施設利用における公平性が確保されている。	a	a
	4 地域住民・各種関係団体等との意見交換や連絡調整が適切に行われている。	a	a
コンプライアンスの取組み	5 業務実施における法令遵守のための体制が整備されている。	a	a
	6 個人情報保護に関する体制が整備されている。	a	b
利用者数・利用率向上策	7 利用者数向上策について、提案通りに実行されている。	c	c
	8 利用促進に係る広報・PR活動を積極的に行っている。	b	b
利用者サービス向上策	9 利用者サービス向上策について、提案通りに実行されている。	c	c
	10 利用者意見・要望が事業等に適切に反映されている。	a	a
	11 苦情処理やトラブルへの対応について、市との連携、市への報告が適切に行われている。	a	a
自主事業	12 自主事業の実施により、施設が有効に活用されている。	c	c
収支計画	13 収支予算書と比較して、収支状況が妥当である。《収入》		
	14 収支予算書と比較して、収支状況が妥当である。《支出》	a	a
人員配置計画	15 提案に基づき、効率性と安全性を両立した人員配置・勤務体制となっている。	b	b
人材育成についての考え方及び研修計画	16 研修計画に基づき、人権啓発のための研修が実施されている。	b	b
	17 研修計画に基づき、人材育成のための研修が実施されている。	a	a
危機管理策	18 緊急時の体制や対応策について必要な対策を講じている。	a	a
日常の安全管理	19 事業計画書等に従い、防犯・防災・衛生管理業務を適切に行っている。	b	b
	20 事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	b	b
	21 仕様書等に従い、清掃業務が行われている。	b	b

		自己	担当課
その他	22 備品台帳に記載された備品を適切に管理している。	b	b
	23 外部への業務委託が適正に行われている。	a	a

④改善要求点(4年目評価における運営改善を要求した項目に対する評価)

	改善要求点	対応及び評価
ア	施設の利用案内など、寺内町地区外への積極的な情報発信を行うとともに、市民活動団体などと協力し、連携を図りながら、利用促進に向けた取り組みに努めて下さい。またホームページなどの情報発信媒体については、視覚的に見やすく改善を行い、施設の利用方法について工夫を凝らした効果的な発信について検討して下さい。	施設の利用案内など寺内町地区外への情報発信については、じないまち交流館facebookの開設など効果的な広報活動を検討されている。また、地区内への情報発信については、地元町会と協力・連携し、町会掲示板や回覧板を使用するなど積極的な広報活動に努められている。また、ホームページについては、視覚的な見やすさや工夫を凝らした発信内容など検討されていることは評価できる。
イ		
ウ		

⑤評価者(所管課)コメント

事業計画を概ね充足した内容の施設運営が実施されている。今年度については、ここ数年同様、平成30年度も府内の最低賃金単価の増額に伴い人件費が増額したが、当初計画にはなかった地区拡大選定記念事業に参加し積極的に自主事業を実施するなどで計画以上の収益を上げられ業務に支障はなかった。さらに、施設の老朽箇所を指定管理者自らで修理するなど、適正な施設管理、安定的なサービス供給を維持しつつ、経費削減にも積極的に取り組まれていることなど評価できる。

[参考]	【千円】					
	平成 28 年度		平成 29 年度		平成 30 年度	
	予算	決算	予算	決算	予算	決算
指定管理料	4,642	4,642	4,745	4,745	4,704	4,704
利用料金						

[参考]	【人】					
	目標	実績	目標	実績	目標	実績
利用者数	34,027	33,672	33,350	28,648	32,200	29,139

[参考]	【%】					
	目標	実績	目標	実績	目標	実績
利用率	12.6	11.8	13.4	11.1	12.5	12.2

●指定管理者業務評価シート(4年目評価)

施設名	富田林市立スポーツ施設	施設所管課	生涯学習課
指定管理者名	ミズノグループ(代表者 美津濃株式会社)		
指定期間(年度)	平成27年度 ~ 平成30年度	評価対象年度	平成 30 年度

①評価の実施方法

下記の評価項目ごとに、指定管理者より提出される実績報告を基に所管課が評価を行う。

②評価基準

a~dの4段階(aが最良)の評価を行い、仕様書や提案(業務計画)の内容を満たす問題のない内容を「b」(基準点)とする。

③評価項目

		自己	担当課
基本方針	1 管理運営の基本方針の周知が適切になされている。	a	a
	2 管理運営において環境への配慮がなされている。	a	b
	3 施設利用における公平性が確保されている。	a	a
	4 地域住民・各種関係団体等との意見交換や連絡調整が適切に行われている。	a	b
コンプライアンスの取組み	5 業務実施における法令遵守のための体制が整備されている。	a	a
	6 個人情報保護に関する体制が整備されている。	a	a
利用者数・利用率向上策	7 利用者数向上策について、提案通りに実行されている。	a	c
	8 利用促進に係る広報・PR活動を積極的に行っている。	a	b
利用者サービス向上策	9 利用者サービス向上策について、提案通りに実行されている。	a	c
	10 利用者意見・要望が事業等に適切に反映されている。	a	b
	11 苦情処理やトラブルへの対応について、市との連携、市への報告が適切に行われている。	a	a
自主事業	12 自主事業の実施により、施設が有効に活用されている。	a	a
収支計画	13 収支予算書と比較して、収支状況が妥当である。《収入》	a	b
	14 収支予算書と比較して、収支状況が妥当である。《支出》	a	a
人員配置計画	15 提案に基づき、効率性と安全性を両立した人員配置・勤務体制となっている。	a	a
人材育成についての考え方及び研修計画	16 研修計画に基づき、人権啓発のための研修が実施されている。	a	b
	17 研修計画に基づき、人材育成のための研修が実施されている。	a	a
危機管理策	18 緊急時の体制や対応策について必要な対策を講じている。	a	a
日常の安全管理	19 事業計画書等に従い、防犯・防災・衛生管理業務を適切に行っている。	a	b
	20 事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	b	b
	21 仕様書等に従い、清掃業務が行われている。	a	b

		自己	担当課
その他	22 備品台帳に記載された備品を適切に管理している。	b	b
	23 外部への業務委託が適正に行われている。	a	a

④改善要求点(3年目評価における運営改善を要求した項目に対する評価)

	改善要求点	対応及び評価
ア	利用者向上策・利用者サービス向上策ともに提案通り実施されているが、利用者数や稼働率が減少している。それぞれの向上策が効果的に作用しているか、分析を進め利用者数・稼働率増加に努めていただきたい。	イベントや既存教室、また新規教室の案内を地域広報誌の掲載回数を増やすことにより利用者数向上に努めます。施設空き情報の確認が出来るインターネット閲覧ツールを広報紙やホームページに掲載し稼働率の向上に努めます。※利用人数について、上記対応を行っているが、減少している。根本的な見直しが必要である。
イ		
ウ		

⑤評価者(所管課)コメント

全体的に、仕様書や提案書、年度計画等を充足されており、利用者の立場に立った管理運営がされていると評価している。利用者数の減少については、天候に左右されやすい屋外施設が多く、昨年的高温や台風被害などで利用者数が減少していると考えている。また、広報・PRを行うタイミング等も良かったものと思われるが、利用促進につながっていない部分も認められる。

[参考]	【千円】					
	平成 28 年度		平成 29 年度		平成 30 年度	
	予算	決算	予算	決算	予算	決算
指定管理料	65,900	65,900	65,900	65,900	65,900	65,900
利用料金	12,500	13,521	12,600	13,301	12,800	12,938

[参考]	【人】					
	目標	実績	目標	実績	目標	実績
利用者数	767,485	813,016	771,400	756,752	762,107	717,243

[参考]	【%】					
	目標	実績	目標	実績	目標	実績
利用率	39.2	36.6	39.6	35.5	39.6	35.3